

# 令和5年度 事業計画

令和2年3月にWHO（世界保健機関）が新型コロナウイルス感染症の世界的大流行（パンデミック）を表明し、3年が経過しました。

世界各地で新型コロナウイルス感染症によるパニックが広がり、新たな変異株も次々に見つかるなど感染拡大が猛威を振るいました。

日本も当然のように生活様式が一変し、複数回のワクチン接種やマスクを装着しての外出、手指消毒が常識となりました。

このような中で昨年2月下旬、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は新たな脅威として世界中を震撼させ、その影響から資源や物流の停滞による物価の高騰等の経済的打撃は計り知れず、以前のような生活を取り戻すことが益々困難な展開となっています。

さて、シルバー人材センターを取り巻く環境は引き続き大変厳しい状況にあり、国による65歳までの継続雇用制度や定年制の廃止、更に昨年は70歳までの就業機会確保等が努力義務化されるなど、近年は新規入会者数が伸び悩んでいる状況が続いています。

また、今年の10月から始まる「インボイス制度」は経過措置こそ設けられているものの、シルバー人材センター事業の事務費収益は、ほとんど消費税として納付しなければなりません。

今後のインボイス制度の動向にもよりますが、岡崎市シルバー人材センターの健全なる財政運営を維持するための取組が最重要課題になると言えます。

令和5年度は、基本方針の5つの柱を主体に事業を進めていきます。

特に「インボイス制度に向けた対策の推進」は、今後の事業計画でも継続的な最重要課題として取り組む必要性があり、全国シルバー人材センター事業協会の方針を見極めながら対処していきます。

令和5年度も、基本方針及び実施計画に基づき事業の躍進に努めてまいりますので、引き続き会員の皆様を始め関係者及び関係機関の皆様方には一層のご支援とご協力をお願いします。

## 1. 基本方針

- (1) インボイス制度に向けた対策の推進
- (2) 会員の増強に向けた取組強化
- (3) 事業実績向上に向けた取組強化
- (4) 安全就業と感染症予防の取組強化
- (5) 「第3次経営改革5か年計画」の推進

## 2. 事業実施計画

### (1) インボイス制度に向けた対策の推進

インボイス制度の施行が近づくにつれ、影響を受ける各種業界からインボイス制度反対の声が徐々に大きくなってきています。

シルバー人材センターでは、「センター・発注者・会員」の契約形態を変更する案やインボイス制度対象除外への取り組み等、様々な案や意見が出てきています。

国会では、対象者の保護を目的とした「フリーランス新法」なる法案が国会に提出されましたが一部の保護的な規定が盛り込まれてはいますが、シルバー事業にとって既存の措置が維持されるようなものではなく、このままでは色々な業種において、廃業に追い込まれる免税事業者もかなりの数になると予想されています。

現在、シルバー人材センター会員は「ひとり一人が事業主」の扱いとなっており、会員は免税事業主と判断されている中で、シルバー人材センターとして健全なる財政運営を目指した取り組みを模索していかなければなりませんので、引き続きインボイス制度に関する情報に注視し、適時・適切に対応していきます。

### (2) 会員の増強に向けた取組強化

法改正による「70歳まで就業機会確保等の努力義務化」が進められる中において、会員増強は大変厳しい状況にあります。積極的に各種PRを展開し会員増強に努めていきます。

- ① 各種イベントを活用したPRを行う。
- ② ハローワークと情報を密にし、連携したPRを展開する。
- ③ 愛知県シルバー人材センター連合会と協力し、各種講習の開催と参加者の入会促進を行う。
- ④ 取引先企業等と連携し、退職者に対するシルバー人材センターへの入会勧誘を協力要請する。
- ⑤ 会員数の少ない地域を絞り込んでのポスティング活動を実施する。
- ⑥ 会員による紹介キャンペーンを継続して実施する。
- ⑦ 全会員によるポスティング活動の実施に向け取り組む。
- ⑧ 公共施設や商業施設を活用してのPRやボランティア活動によるPRを展開する。

### (3) 事業実績向上に向けた取組強化

会員増が必須条件ではあるが、近年伸び悩んでいる委託・請負事業の実績増はもとより、毎年実績が伸びている「一般労働者派遣事業」の充実に向けた事務局体制の整備を図り、更なる実績増と派遣事業の躍進を図っていきます。

- ① 実績の下がってきている民間企業等に発注業務の拡大や新規事業の発注について協議し、協力要請する。
- ② 新規公共事業情報を把握し、シルバー人材センターとの連携について調整を図る。
- ③ 就業に活用可能な会員スキルを把握し、専門分野への開拓について検討する。
- ④ SNS等の新たなメディアを活用するPR方法について研究する。

#### (4) 安全就業の徹底と感染症予防の取組強化

3年以上にわたり世界中を恐怖に陥れた新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の2類から5類へ分類変更され、同時に名称変更案も検討されていることが政府から発表されました。

この変更により、現在の生活様式や医療の取扱い等がどのように変わっていくのか全く予想できない状況にあります。

当然、感染者数の把握や発表、医療費の公費負担も無くなっていくでしょうし、マスクをする人や手指消毒も徐々に減っていくことが予想されます。

しかし、高齢者の団体であるシルバー人材センターとしては、早急な感染予防対策の全面解除には不安があります。

引き続き新型コロナウイルス感染症に関する情報の収集に努め、予防対策継続を軸に状況に応じた対策の緩和を進めていきます。

岡崎市シルバー人材センターでは、平成30年度から原則として草刈業務で使用する刈り払い機の刈刃を挟み切り方式に限定した結果、飛び石による賠償事故はほとんど発生していません。

しかし、残念なことに全国的には相変わらずチップソーによる飛び石事故が多発しているため、令和5年度から賠償保険料の引き上げ対象団体の指定となり、約30%の保険料引き上げとなりました。

シルバー保険料の引き上げは、財政的に深刻な問題となりますので、引き続き安全就業の徹底に努めていきます。

- ① 刈り払い機取扱い講習を開催し、飛び石事故等の賠償事故撲滅に取り組む。
- ② 関係会員にチェーンソーやトリマー等の取扱注意事項について再確認を行う。
- ③ 就業中の転倒や階段昇降時の転落防止に向けた取組を会報等により情報提供する。
- ④ 自転車を使用する会員にヘルメットの着用と保険加入の促進を図る。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症に関し、感染防止緩和情報等について随時発信していく。
- ⑥ 労働者派遣事業で働く会員の労働環境把握と労災事故防止に向けた取組について「衛生委員会」による巡回を行うとともに、安全就業に係る企画・行事を検討する。

#### (5) 「第3次経営改革5か年計画」の推進

令和4年度から令和8年度までの5か年における運営及び事業展開の基本方針を策定し、配布しました。

非常に厳しい現状を踏まえつつも、最終目標値は願望も込めた数値目標としました。

しかし、新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻、想定外の自然災害の発生等、世界情勢は全く先が見えない状況にあります。

現状を踏まえ、「第3次経営改革5か年計画」においては、経過年度単位で内容と計画の進捗状況を検証し、健全な財政運営を目指した対応を図っていきます。

#### (6) その他

- ① 愛知県シルバー人材センター連合会と協力し、各種講習会の開催を推進する。
- ② 会員不足になってきている職種への就業を目的とした講習会の開催を検討する。
- ③ シルバー支援隊事業及び「和（なごみ）」事業のPRを展開し、利用者開拓を図る。
- ④ ホームページやスマホを活用した事業展開・情報提供について推進を図る。